

教科 科目	国語 国語 3	学 年	3 年	単 位	5 単位	担 当	畠中 典子
【科目の概要】 テキストを正確に読み取り、妥当な解釈を行い、母語である日本語を適切に運用して表現する力を育成することを目標とします。教科書の文章の構成や表現方法を参考に、自らの作文能力の向上を図ります。							
【育成をめざす学力】 ① 主体的、継続的に学習することによって、自らを向上させようとする自己学習力 ② 漢字・語句・文法等の、文章読解の基礎的な力をつけて、学習活動や生活の場で活用する力 ③ 多様な文章（説明文、小説、詩歌、古典等）を要約し、内容を読解する力 ④ 社会や文化、自分の生き方について考え、理解を深めて、自分の意見を築き、表現する力 ⑤ 出題形式に応じて、適切な解答をつくる力							
【評価基準・評価項目】 ・ 漢字、文法等の基礎的知識を習得し、活用できる。 ・ 古典の文章全体の内容を理解できる。 ・ 説明文の要約作成、読解ができる。 ・ 小説や詩歌に描かれた心情等を読み取り、読解ができる。 ・ 様々な文章を題材に、自らの意見を構築、表現できる。							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4 月	・ 詩「言の森」 ・ 小説「握手」						・ 問題演習
5 月	・ 『批判的に読む』とは ・ 評論「間の文化」						・ 問題演習
6 月	・ 俳句「俳句の世界」 ・ 「俳句十句」						・ 問題演習
7 月	・ 随想「海を越えた故郷の味」 ・ 論説「フロン規制の物語」						・ 問題演習
8 月	・ 古文「おくの細道」						・ 問題演習
9 月	・ 古文「おくの細道」・ 論説「見たいものだけを見る私たち」						・ 問題演習
10 月	・ 小説「故郷」 ・ 文法のまとめ						・ 問題演習
11 月	・ 詩「初恋」 ・ 論説「私とは何か」						・ 問題演習
12 月	・ 古文「和歌の世界」 ・ 文法のまとめ						・ 問題演習
1 月	・ 小説「坊ちゃん」						・ 問題演習
2 月	・ 漢文「論語」						・ 問題演習
3 月	・ 読書の広場 書写						・ 問題演習

教科 科目	社会 3（公民分野）	学 年	3 年	単 位	4 単位	担 当	後藤 健司 古賀 彩香
【科目の概要】 人間はより幸せな暮らしを求めて「社会」をつくり、「社会」で生きてきた。「社会科」とは幸せに生きるために人々が工夫をこらし、様々な課題に立ち向かっていながらつくっていった「社会」と「社会」で生きている「人間」を学ぶ教科である。1・2年生で、「社会と人間」を見る範囲を自分の周囲から日本全体へ、世界全体に広げるために「地理的分野」を学び、「社会と人間」の歩みを知るために「歴史的分野」を学んできた。3学年は、「歴史分野」の継続と中学社会の総決算として、今まで学んだことを活用しながら今現在の「社会」のしくみとその目的を学び、現代の「社会」が抱える課題を知り、改善の方法を探り、より幸せな「社会」をつくるために何をすべきかを考えていく。							
【育成をめざす学力】 ・近現代の歴史および現代の日本の政治・経済や国際社会を理解するために必要な基本用語を習得する力 ・日本国憲法から日本の政治のしくみと意義を理解する力 ・資料から現代日本の政治や経済、国際社会のようすを読み取る力 ・学習内容から現代日本の政治や経済、国際社会の課題を発見し、説明する力 ・自己の価値観から「あるべき社会の姿」を考え、社会の課題を解決する策を提示する力 ・学習活動を通じて社会科学習の意義を理解し、現代社会への興味・関心を喚起する力 ・学習活動を通じて自己の学習状況や学習姿勢を検証し、改善する力							
【評価基準・評価項目】 ・基本用語を正確に暗記し、表記できる（社A①） ・現代社会の特徴を把握するために基本用語を整理・説明できる（社A②・③） ・提示された資料から現代社会の特徴を読み取ることができる（社A④） ・現代社会の社会観や人間観について、自分の価値観に照らし合わせて評価・説明できる（社B③） ・現代の人間や社会の問題点を独自の視点から設定・問題点の方策を考えることができる（社C①・②・⑤） ・自己の社会改善策の立案・提示の過程を通じて学習意義を発見、人間・社会への興味・関心を喚起できる（社C⑦）							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4 月 5 月 6 月 7 月 8 月 9 月 10 月 11 月 12 月	公民分野（政治） 第 1 章 現代社会と私たち ① 現代社会の特色と私たち ② 私たちの生活と文化 現代社会の見方や考え方 公民分野（経済・政治） 第 4 章 わたしたちの暮らしと経済 ①消費生活と市場経済 ②生産と労働 ③市場経済の仕組みと金融 ④財政と国民の福祉⑤これからの経済と社会 第 2 章 人間の尊重と日本国憲法 ①人権と日本国憲法 ②人権と共生社会 ③これからの人権保障			歴史分野 第 5 章 2 節 欧米の進出と日本の開国 第 6 章 二度の世界大戦と日本 第 7 章 現代の日本と世界			
	第 3 章 現代の民主政治と社会 ①現代の民主政治 ②国の政治のしくみ ③地方自治と私たち						
1 月	社 会 科 学 習 の 総 復 習						
2 月 3 月	第 5 章 地球社会と私たち						

教科 科目	数学 3	学 年	3 年	単 位	4 単位 ＋演習 1	担 当	宮原 望・脇田 祥弥
【科目の概要】 平方根について理解し、数の概念についての理解を深める。また 2 次方程式について理解し、式を能率的に活用できるようにする。関数 $y = ax^2$ について理解し、関数関係を見出し、考察し表現する。図形の相似、三平方の定理について理解し、それらを図形の性質の考察や計量に用いる。							
【育成をめざす学力】 ① 学習の基盤となる基礎的・基本的な知識・技能を習得し、活用できる力（F，G） ② いろいろな問題の解決に向けて、根拠を明らかにし、筋道を立て、体系的に考えることのできる力（C，D） ③ いろいろな問題の解決に向けて、言葉や数、式、図、表、グラフなどの関連を理解し、活用できる力（A，B） ④ 学習活動を通して、自分の考えを説明、表現できる力。（E） ⑤ 数学を学ぶ意欲を高め数学的な見方や考え方のよさを実感し、それらを通して考え判断できる力（D）							
【評価基準・評価項目】 (知識・技能) ○数の平方根，多項式と二元方程式，図形の相似，円周角と中心角の関係，三平方の定理，関数 $y=ax^2$ ，標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ○事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 (思考・判断・表現) ○数の範囲に着目し，数の性質や計算について考察したり，文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力，図形の構成要素の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，その特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，標本と母集団の関係に着目し，母集団の傾向を推定し判断したり，調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を身に付けている。 (主体的に取り組む態度) ○数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え，数学を生活や学習に生かそうとしたり，問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたり，多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしたりしている。							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4 月 5 月	2 章 平方根 3 章 2 次方程式	1 節 平方根 ①平方根 ②有理数と無理数 2 節 ①根号を含む式の乗法・除法 ②加法・減法 ③いろいろな計算 1 節 ① 2 次方程式とその解 ② 2 次方程式の解き方（因数分解・平方根・解の公式）					
6 月 7 月	4 章 関数 $y = ax^2$	2 節 ① 2 次方程式を利用する問題 演習問題 1 節 ①2 乗に比例する関数 ②関数 $y = ax^2$ のグラフ ③関数 $y = ax^2$ の値の変化 2 節 ①関数 $y = ax^2$ の利用 ②いろいろな関数 演習問題					
8 月 9 月	5 章 相似	1 節 相似な図形 ①相似な図形の性質 ②三角形の相似条件 ③縮図の利用 2 節 平行線と線分の比①三角形と比 ②中点連結定理 ③平行線と線分の比 3 節 面積の比、体積の比①三角形の面積と線分の比 ②相似な図形の面積の比 ③相似な立体の表面積の比、体積の比 演習問題					
10 月 11 月	6 章 円 7 章 三平方の定理	1 節 円①円周角の定理 ②円周角の定理の逆 ③円の性質の利用 接弦、内接する四角形、方べきの定理 1 節①三平方の定理 ②三平方の定理の逆 2 節①平面図形への利用 ②空間図形への利用					
12 月	3 年間の実力問題						
1 月	3 年間の実力問題						
2・3 月	8 章 標本調査	1 節①母集団と標本 ②標本調査の活用					

教科 科目	理科 3	学 年	3 年	単 位	5 単位	担 当	岩永 和美
【科目の概要】 〈運動とエネルギー〉物体の運動やエネルギーに関する観察，実験を通して，物体の運動の規則性やエネルギーの基礎について理解するとともに，日常生活や社会と関連づけて運動とエネルギーの初歩的な見方や考え方を養います。 〈生命の連続性〉身近な生物についての観察，実験を通して，生物の成長とふえ方，遺伝現象について理解するとともに，生命の連続性について認識を深めます。また，土の中の生物のはたらきを理解するとともに，自然界における生物相互の関係や自然界のつり合いについても認識を深めます。 〈化学変化とイオン〉化学変化についての観察，実験を通して，水溶液の電気伝導性や中和反応について理解するとともに，これらの事象・現象をイオンのモデルと関連づけてみる見方や考え方を養います。 〈宇宙を観る〉身近な天体の観察を通して，地球の運動について考察するとともに，太陽や惑星の特徴および月の運動と見え方を理解し，太陽系や恒星など宇宙についての認識を深めます。 〈自然と人間〉自然と人間のかかわり方について認識を深め，自然環境の保全と科学技術の利用のあり方について科学的に考察し，判断する態度を養います。エネルギー資源の利用や科学技術の発展と人間生活とのかかわりについて認識を深め，自然環境の保全と科学技術の利用のあり方について科学的に考察し判断する態度を養います。 「理科演習（5単位のうち1単位）」で4月から中学3年間の総復習を始めます。							
【育成をめざす学力】 (1) 理科の基本的な概念や原理・法則の理解 (2) 実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能、安全管理 (3) 自ら問題を見だし、見通しをもって観察、実験する力 (4) 実験結果を分析し、特徴、規則性や関係性を見だし、表現する力 (5) 自然の事象・現象に興味関心をもち、自ら学び、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究する態度 (6) 文章、図、グラフ、表などを読み取る読解力 (7) 共同学習において、他者を尊重し、協力する態度 (8) 自然環境の保全と科学技術の在り方について、科学的に考察する態度							
【評価基準・評価項目】 知識・技能…運動とエネルギー、化学変化とイオン、生命の連続性、地球と宇宙、科学技術と人間、自然と人間についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。（評価材料：定期考査、小テスト、実技テスト） 思考・判断・表現…運動とエネルギー、化学変化とイオン、生命の連続性、地球と宇宙、科学技術と人間、自然と人間から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、特徴、規則性、関係性を見いだして表現している。探究の過程を振り返っている。自然環境の保全と科学技術の在り方について、科学的に考察して判断している。（評価材料：定期考査、小テスト、実験・観察レポート、調べ学習や研究作品、プレゼンテーション） 主体的に取り組む態度…運動とエネルギー、化学変化とイオン、生命の連続性、地球と宇宙、科学技術と人間、自然と人間に進んで関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。（評価材料：授業中の取り組みや態度、振り返りシート、レポート、理科ノート、調べ学習や研究作品、小テスト、プレゼンテーション）							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4 月	力の合成と分解 物体の運動						3 年間の総復習
5 月	仕事とエネルギー 多様なエネルギーとその移り変わり						3 年間の総復習
6 月	エネルギー資源とその利用		生物のふえ方と成長		遺伝の規則性と遺伝子		3 年間の総復習
7 月	生物の種類の多様性と進化						3 年間の総復習
8 月	水溶液とイオン						3 年間の総復習
9 月	電池とイオン		酸・アルカリと塩		3 年間の総復習		
10 月	宇宙の天体		太陽と恒星の動き				3 年間の総復習
11 月	月と金星の動きと見え方		自然界のつり合い		さまざまな物質の利用と人間		3 年間の総復習
12 月	科学技術の発展		人間と環境		持続可能な社会を目指して		3 年間の総復習
1 月	3 年間の総復習						
2 月	探究活動						
3 月	探究活動						

教科 科目	音楽 3	学 年	3 年	単 位	1 単位	担 当	佐野智江
【科目の概要】							
週 1 時間の授業を通して、より深い内容の音楽学習を行います。鍵盤楽器やリコーダーなど、身近な楽器の歴史について知識を深める機会を持ちます。また音楽史の授業では、1 年次から学習してきた各時代の鑑賞曲を、歴史的な観点から系統だてながら整理していきます。							
【育成をめざす学力】							
・これまで学習した知識をふまえ、音楽というものを深く考えようとする力。 ・音楽史を通して、各時代の音楽の特徴的な響きを感じ取る力。							
【評価基準・評価項目】							
○知識・技能：音楽の構造の理解。歌唱、(器楽)、創作に必要な技能。(定期考査、実技テスト)							
○思考・判断・表現：旋律、速度、強弱、歌詞内容の知覚や工夫。(定期考査、実技テスト、創作活動)							
○主体的に取り組む態度：諸活動への意欲。(授業中の取り組みや態度)							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4 月	情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう 「花」						
5 月	作曲者の思いを感じとろう 交響詩「ブルタバ (モルダウ)」						
6 月	旋律の美しさを感じとろう 「花の街」 讃美歌コンクールに向けて 実技テスト (歌唱)						
7 月	讃美歌コンクールに向けて 1 学期のまとめ 期末考査						
8・9 月	讃美歌コンクールに向けて						
10 月	曲想を感じとりながら表現豊かに歌おう 「帰れソレントへ」 楽器の音色に親しみながら、オーケストラの響きを味わおう 「ボレロ」ラヴェル作曲						
11 月	クリスマス礼拝準備 (「ハレルヤコーラス練習」) 実技テスト (歌唱)						
12 月	クリスマスの讃美歌に親しもう クリスマス礼拝準備 (「ハレルヤコーラス練習」) 2 学期のまとめ 期末考査						
1 月	オペラに親しみ、その音楽を味わおう 歌劇「アイーダ」 西洋音楽史について理解を深めよう						
2 月	西洋音楽史について理解を深めよう 学年末考査						
3 月	情景を思い浮かべながら表情豊かに歌おう 「早春賦」 中学校 3 年間のまとめ						

教科 科目	美術 3	学 年	3 年	単 位	1 単位	担 当	服部 夏子
【科目の概要】							
さまざまな作品から視覚表現の可能性を学び、個性的な表現方法を考案し制作します。また、鑑賞以外の目的・用途のある生活の中に生きる美術のあり方を、制作を通して学びます。							
【育成をめざす学力】							
・ 自然物・人工物に目を向けその価値を見出し、その背景を想像していこうとする力 ・ 民族・地域・時代による美的価値の違いに興味関心を持ち理解する力 ・ 表現することに価値を置き有効な表現手段を探り、表現する力							
【評価基準・評価項目】							
・ 自分の思いや考えを、表現・発表することができる（主体的に取り組む態度） ・ 造形的な視点に立ち周囲の自然物や人工物の良さや美しさを発見し、自らの独創的な表現につなげることができる (思考・判断・表現) ・ 美術の変遷を影響と発展の観点から理解することができる（知識・理解） ・ 自ら構想した物を形や色、材料や道具を工夫して視覚化することができる（思考・判断・表現） ・ 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現することに取り組もうとしている（主体的に取り組む態度） ・ 作品を鑑賞し、自分なりに良さを発見することや作者の思いや工夫に触れることに主体的に取り組もうとしている (主体的に取り組む態度)							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4 月	版画の技術を学ぶ 幻想の世界 想像の世界を描いた作品を鑑賞する 想像の世界を描く						
5 月							
6 月							
7 月							
8 月							
9 月	相互評価 ポスターデザインについて考える デザイン 制作						
10 月							
11 月							
12 月							
1 月	伝えたい情報を視覚化する プランニング 現代の美術を鑑賞する						
2 月							
3 月							

教科 科目	保健体育 体育	学 年	3 年	単 位	2 単位	担 当	浦 元 久美子
【科目の概要】 心と体を一体としてとらえ、健康の保持増進のための実践力の育成と体力向上を図り、自己の能力に適した課題を持って取り組む姿勢を養う。また、チームにおける自己の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して練習やゲームができるようにする。							
【育成をめざす学力】 ◇互いに協力して自己の役割を自覚し、チームの課題や自己の能力に適した解決を目指し、勝敗に対して公正な態度が取れるようにする。							
【評価基準・評価項目】 ・個人やグループで、課題に対して計画的に練習し、発表ができる。 ・グループで協力して、ルールを守り、積極的に授業に取り組むことができる。							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4・5 月	1 体育実技の受け方のオリエンテーション・体育祭の練習						
6 月	2 集団行動 3 バレーボール・T ボール ①オーバーハンドパス、アンダーハンドパス						
7・8 月	②サーブ③評価④ゲーム ⑤ゲーム						
9 月	4 フラッグフットボール ① パス・キャッチ、フラッグをとる・かわす						
10 月	②チーム練習（作戦計画） ③ミニゲーム						
11 月	④評価 ⑤ゲーム						
12 月	5 創作ダンス ①オリエンテーション ②ダンスの基礎						
1 月	③班で選曲・ストーリー作り ④創作						
2 月	⑤創作						
3 月	⑥班別で発表・評価						

教 科 科 目	保健体育 保 健	学 年	3 年	単 位	1 単位	担 当	浦 元 久美子
【科目の概要】							
個人における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。							
【育成をめざす学力】							
① 健康と環境について理解できるようにする。							
② 傷害の防止について理解を深めることができるようにする。							
③ 健康な生活と疾病の予防について理解を深めることができるようにする。							
【評価基準・評価項目】							
・ 個人及び、集団における健康、安全について理解できる。							
・ 健康に対する正しい理解のもと、意思決定や行動の選択ができる。							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4・5 月	1 オリエンテーション 1. 環境の変化には体はどう対処するか						
6 月	2 健康に左右するもの 3 運動と健康 4 食事と健康						
7 月	5 生活習慣病とその予防 1 学期期末考査（評価）						
8 月	6 休養・睡眠と健康						
9 月	7 喫煙と健康 8 飲酒と健康 9 薬物と健康						
10 月	10 感染症と病原体 11 感染症と予防 救急救命講習※消防署による救急処置の講習を実施						
11 月	12 性感染症の予防 13 エイズの予防 14 医薬品の正しい使い方 2 学期期末考査（評価）						
12 月	15 医療・保健機関とその利用 16 個人の健康を守る						
1 月	17 けがの防止と健康 18 交通事故によるけがの防止						
2 月	19 犯罪被害の防止 20 自然災害への備えと避難 学年末考査（評価）						
3 月	21 応急手当の基本						

教科 科目	技術・家庭 3	学 年	3 年	単 位	1 単位	担 当	高崎 和子
【科目の概要】 技術・家庭科では、よりよい生活をしていくために、生活に必要な知識や技術を理解し、実際の生活の中でいろいろな課題を解決する方法を学びます。生活するためには、知っているだけでなく、実際に手や体を動かして体験することが必要です。そのために実習を行い、その過程で生活を工夫し、創造する能力やものをつくる技術を習得します。また、生活の基盤である家庭の役割や、家族や周囲の人々の支え合いの大切さについて学び、周囲の人々との豊かなかかわり方を工夫したり、自分のくらしと環境のかかわりについて考えたりして、実践する力を養います。これらの学習を通して生活の自立と共生のための基礎的な考え方や知識・技術を身につけ、生活を工夫し、創造するのが教科の目的です。							
【育成をめざす学力】 ・情報を収集し、活用する力 ・課題に対して様々な角度から考える力 ・自分の考えをまとめる力 ・生活の自立と共生のために必要な力 ・生活をよりよいものに改善していこうとする意欲や創意工夫する力							
【評価基準・評価項目】 ・住生活、消費生活、情報についての基本的知識・技術を習得できている。 ・安全に配慮し、グループのメンバーと協力して実習を行うことができる。 ・生活の創意工夫をすることができる。 ・学習内容に関するスクラップブックを作成し、その内容を要約して発表することができる。 ・必要な情報を収集し、自分の考えをまとめて発表することができる。							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4 月～ 7 月	「私たちの住生活」 1 住まいの役割と安全な住まい方 (1) もしも住まいがなかったら (2) 住まいと気候風土の関わり (3) 健康で快適な室内環境 (4) 家族の住まいを安全・安心に (5) 災害への対策 (6) 持続可能な住生活を目指して						
8 月～ 1 2 月	「情報の技術」 1 情報の技術の原理・法則と仕組み 2 双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決 3 計測・制御のプログラミングによる問題解決 4 社会の発展と情報技術「私たちの消費生活と環境」						
1 月～ 3 月	「私たちの消費生活と環境」 (1) 消費者としての自覚 (2) 購入方法と支払い方法 (3) バランス良く計画的な金銭の管理 (4) 消費者トラブルとその対策 (5) 何を考えて決めますか～意思決定のプロセス 2 責任ある消費者になるために (1) 消費者としてできること～権利と責任～ (2) 省エネルギーと持続可能な社会 (3) 持続可能な消費社会を目指して						

教科 科目	英語 3	学 年	3 年	単 位	6 単位	担 当	井上真理子 天野ムチャレジス
【科目の概要】 世界中に幾つとなく存在する言語，それら全てを習得することは不可能ですが，世界公用語といわれる英語を習得すると，世界中の人と話ができます。英語を通して他国の文化・社会・生活に興味を持ち，自分たちの視野を広げましょう。この科目は全 6 単位のうち，1 単位をティームティーチングで行い，より多くの情報量の英語を聞き，適切な対応ができる力と自分の考えを英語で表現する力を養っていきます。5 単位は教科書，問題集，タブレットを活用し，中学校英語の集大成をしていきます。							
【育成をめざす学力】 Reading 速くそして正確に英文の内容を読み取る力 Listening 目的をもって展開を予測しながら聴き、内容を把握する力 Speaking / Writing 身近な話題について自ら考え、積極的に英語で表現する力							
【評価基準・評価項目】 ・ Reading： 高校入試長文程度の英文を読んで，理解することができる。 Chunk ごとに正しく切って読むことができる。 ・ Listening： 日常的な話題についての英語を聞いて，大意を把握することができる。 ネイティブの先生の指示を正確に理解することができる。 ・ Speaking： 日常的な話題について，ネイティブスピーカーと対話できる。(英検 3 級レベル)。 自分自身や身近な話題について，1 分間のスピーチをすることができる。 日本の文化・習慣について，簡単な英語で説明することができる。 ・ Writing： 身近な話題について 80 語程度の英文で，自分の考えや意見を書くことができる。							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4 月	1・2 年生の復習・Review Lesson / Lesson 1（現在完了、不規則動詞の活用）						
5 月	Lesson 1 & 2 （現在完了、現在完了進行形）						
6 月	Lesson 3 / Reading 1（後置修飾の文：現在分詞、過去分詞の形容詞的用法）						
7 月	Lesson 4（関係代名詞）						
8 月							
9 月	Lesson 5（仮定法）						
10 月	Lesson 6（即興のスピーチ、ディスカッション）						
11 月	Lesson 7（ディベート）						
12 月	Reading 2、Further reading						
1 月	英文読解&文法演習,ライティング&リスニング演習						
2 月	英文読解&文法演習,ライティング&リスニング演習						
3 月	英文読解&文法演習,ライティング&リスニング演習						

教科 科目	聖書	学 年	3 年	単 位	1 単位	担 当	塩屋 優子
【科目の概要】 1 年次からの継続で、「キリストの宣教活動と教会」について新約聖書から学ぶ。新約聖書のキリストの教えと十字架と復活、初代教会の学びを通してキリストへ向かう。							
【育成をめざす学力】 A. 聖書と教会を理解するための知識を習得し、整理する力。 B. 知識を活用（分類・分析）して聖書や教会を解釈する力。 C. 知識を活用（分類・分析）して自分自身の将来像を展望する力。							
【評価基準・評価項目】 ・旧約聖書の主な内容について理解し、知識を身に着けている。 ・日常生活において生じる様々な問題について、聖書に基づいて考え、判断したり、自分の意見を述べたりすることができる。 ・聖書の授業に興味・関心を持ち、課題等に対して主体的に取り組み課題を解決しようとしている。							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4 月	1 キリストの教え ①新しい掟						
5 月	②善いサマリヤ人のたとえ ③放蕩息子のたとえ 2 キリストの活動～奇蹟						
6 月	3 キリストの活動～いやし ①イエスの服に触れる						
7 月	1 ④迷い出た羊のたとえ ⑥タラントンのたとえ						
8 月	3 ②ヤイロの娘						
9 月	4 キリストとの出会い ①香油の女 ②ザアカイ						
10 月	5 十字架と復活 ①ろばの子 ②神殿 ③最後の晩餐						
11 月	④ゲッセマネの祈り ⑤十字架 ⑥埋葬						
12 月	⑦復活						
1 月	6 初代教会 ①ペンテコステ ②ペトロとヨハネ ③ステファノ						
2 月	7 パウロの宣教活動						
3 月	8 パウロの手紙						

教科 科目	インテグレーション3	学 年	3年	単 位	1単位	担 当	3学年教師
【科目の概要】 Integration は“統合”を意味し、異なる教科の担当教師が協働で学年目標に沿った授業計画を作成して行う本校独自の設定教科です。3 学年では学年目標である「自分の考えを表現、行動できる生徒」を目指して学習を進めていきます。軸になる教材として「エナジード CORE2.0」を使用し、1 学期に Vol.7 「自分が選んだ道を正解にする力（目的意識）」について考え、学んでいきます。また、コラム学習や学部学科調べ、グループディスカッションやプレゼンテーションも行い、学力の三要素である「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体的に学習に取り組む態度」を統合的に身につけていきます。							
【育成をめざす学力】 グループで協力して取り組む力 メディアを活用した情報収集、情報分析、情報整理をする力 調べた内容についてレポート発表をする力 日本や世界への理解を深め、積極的に外国の人と関わる力 コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力 小論文作成をする力							
【評価基準・評価項目】 知識・技能…学習の過程において、課題の解決に必要な知識や技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解している。（評価材料：調べ学習、レポート、エナジードテキスト） 思考・判断・表現…実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。（評価材料：エナジードテキスト、ペア・グループワーク、コラム学習、証） 主体的に取り組む態度…学習に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとしている。（評価材料：ペア・グループワーク、エナジードテキスト、ワークシート、展示（掲示）用作品、提出物、授業中の取り組みや態度）							
【年間指導単元・内容と学習活動】							
4 月	修学旅行事前学習						
5 月	修学旅行事前学習		コラム学習				
6 月	修学旅行事前学習		ENAGEED Vol.7				
7 月	ENAGEED Vol.7 LEAF		コラム学習				
8 月	修学旅行事後レポート		小論文学習				
9 月	学部・学科調べ		小論文学習				
10 月	学部・学科調べ						
11 月	学部・学科調べ						
12 月	クラス編成テスト模擬試験						
1 月	クラス編成テスト模擬試験						
2 月	クラス編成テスト準備		コラム学習				
3 月	西南イングリッシュデイ準備						

